

開催日	平成29年6月19日	出欠席者	Aグループ 遠藤（副会長・会計）	出	承認	記録
			Cグループ 宇田川（書記・監査）	出		
開催場所	サポートセンター		Dグループ 木下（会長）	出	木下	宇田川
			Dグループ 下田(HP部会長)	出		

## 議案内容

No	議案項目	内 容
	役員会議題	HP部会と合同で行われた。HP部会と重複した議題は役員会議事録に記載した。
1.	Win10PC現状と確認	<p>Cグループでの設定を説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- プリンター3台の振り分け。             <ul style="list-style-type: none"> <li>1号機～6号機 ⇒ プリンター1</li> <li>7号機～12号機 ⇒ プリンター2</li> <li>13号機～18号機 ⇒ プリンター3</li> </ul> </li> <li>- ルータは講座室の前後に1台ずつ、計2台を設置する。3台目の設置は未定。</li> <li>- プロジェクター</li> </ul> <p>解像度1388x768（パソコンの推奨値）以上の解像度を持ったプロジェクターを使用しないとスクリーン上の画面が不鮮明となるため、高解像度のプロジェクターを用意する必要がある。公民館では従来の講座用ではない別のプロジェクターを借りる予定。</p> <p>また、テキストが使用しているディスプレイ画面の背景画像（紺のWindow）は暗くて大変見にくい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- メール</li> </ul> <p>テキスト通りに稼働することを確認した。</p>
2.	個人情報の取扱	基本方針を作成し、それに基づいた管理方法・手順を実施する必要がある。ファイルにはパスワードを設定したり、USBなどで持ち出す際には暗号化するなど有効である。役員会で指針を作成する事とした。
3.	各グループの現状	Aグループ：すでに、相談会にも参加している方が1名おり、入会を予定している。
4.	リユースパソコン申請	本年度の申請は見送る事とした。
5.	HPに関するもの （重複議題）	<p>HPメンテ担当者の作業量の見直しのため、「ざまっと」メンテ担当者を別に設けるかを検討することとした。</p> <p>パワーポイント講座の「ざまっと」活動報告は下田さんをお願いすることとなった。</p>

No	議案項目	内 容
6.	講座のカリキュラム (重複議題)	<p>1. テキストに沿った形で勉強しながらカリキュラムを作成している。</p> <p>2. 日本語入力ではメモ帳でなく、機能が高いワードパットを使うことを検討している。</p> <p>3. サブ講師も受講生からの質問に対応するため、従来の知識だけでなくWindows10を良く理解しておく必要がある。</p> <p>4. Windowsの学習機能が向上しており、位置情報も含め、色々なアプリで操作履歴が次の操作に影響を与えるため、すべてのパソコンを同じ設定に統一するのが難しくなっている。</p> <p>5. マウス操作の練習のために、以前、使用していたマウスの練習用アプリを導入することとした。</p> <p>6. 館の方針で音楽CDは著作権フリーのものを使用することとなった。</p> <p>「キーボード表」 東文に印刷を依頼中。</p> <p>「ワード・エクセル講座」 開催時期も8月でもあり、従来のテキストボックスを使用した年賀状作成は行わず、ポスター作成を行うこととした。</p>
HP部会議題		
1.	Word&Excel講座	通常、8日間のコースを4日間で行うため、強調すべき項目、省略又は簡素化すべき項目とのメリハリを付けた講師マニュアルの作成を心掛けたい。
2.	パソコンの取説	ルータとプリンターの取説は見つかったが、Windows10パソコン本体の取説が見つからないので探したい。
3.	ネットワークドライブ	パワーポイント講座で準備したファイルは動画などもあって、大容量となった。そのため、メールでは送れなくなり、グループ内、またはグループ間でファイルを共有するためにネットワークドライブを利用した。今後も同様な問題が発生することが予想されるためネットワークドライブの利用を提案したい。今回はGoogleドライブを使用した。既存ファイルの編集で制限があるため、ネットワークドライブを利用するのであれば、OneDriveを推奨したい。会員の意見を聞いて導入を図ることとした。
4.	主な資料の流れ	「相談会チラシ」は役員会が現行のチラシに来期の相談会予定日を記載したものを作成する。
5.	パソコン講座年度別統計	今年度の講座は昨年までの講座と大きく異なるため、集計項目をそのまま継続できない。そのため、当該、統計表は2016年度で一旦、凍結する。今年度以降の集計項目は来年度の講座内容を見てから決めることとする。